

授業科目名		地域・在宅看護概論Ⅰ		1 単位		年次・開講	
				3 0 時間 / 1 5 回		1 年次・ 前期	
担当講師		根本 桂子			実務経験教員対象科目		○
科目目標		暮らしを理解するとともに、暮らしが健康に与える影響が理解できる					
使用テキスト		医学書院 e 地域・在宅看護論 1 地域・在宅看護の基礎					
回数	単元	授業内容		事前学習		方法	評価
1	暮らすということ	1. 暮らしと生活について 2. 自分の暮らしについて 3. 地域、コミュニティ、/個人・家族の捉え方		授業内容に該当するテキストを熟読して授業に臨むこと。		講義	筆記 1 0 0 点
2	多様な暮らしを理解する	1. 他者の暮らしについて 2. 様々な疾患をもって暮らすことについて				講義	
3	支えあって生きるとは	1. 自分の暮らしから支える、支えてもらっていることを振り返る（どんな人・もの・ことであったか） 2. 周囲での支えあっている場面について				講義 演習	
4	地域の生活環境と暮らしを理解し、健康に与える影響について	1. 現代の日本の社会背景について 2. 様々な地域の生活環境について 3. 生活環境が、健康に与える影響について 4. 各地域での健康な生活を維持するための支援について 5. 様々な地域の生活環境と人々の暮らしを調べるための計画書を作成する 6. 計画書を深める		・夏休みの課題（身近な人の健康への取り組みについて調べる）から健康な暮らしを継続するために人々が行っていることをまとめる。		講義	
5						演習	
6						演習	
7						講義 演習	
8						演習	
9						1. 計画書を深める（ディスカッション）	
10		1. 発表会、まとめ		成果物を指示された日に提出する。		演習	

11・12	暮らしに困難さを抱えている方 (演習)	1. 暮らしに困難さを抱えている方の事例について	授業内容に該当する テキストを熟読して 授業に臨むこと。	講義 演習
13	生活の質とは	1. 事例から生活の質について	授業内容に該当する テキストを熟読して 授業に臨むこと。	講義
14	より良く暮らす ということ	1. 個人が、家族が、地域がより良く暮らすこととは何か考え発表する	授業内容に該当する テキストを熟読して 授業に臨むこと。	講義 演習
15	全体のまとめ 単位認定試験 ※授業 10/14 回以上の出席を必要とする			

授業科目名		地域・在宅看護概論Ⅱ	1 単位	年次・開講	
			1 5 時間 / 8 回	1 年次・ 後期	
担当講師		根本 桂子		実務経験教員対象科目	○
科目目標		地域・在宅看護の対象と看護の基盤となる概念を理解し、地域で療養している人を支えるための在宅看護の機能と役割が理解できる			
使用テキスト		医学書院 e 地域・在宅看護論 1 地域・在宅看護の基礎			
回数	単元	授業内容	事前学習	方法	評価
1	生活と健康を支える地域・在宅看護	1. 地域・在宅看護の定義と位置づけ 1) 地域・在宅看護の定義と目的 2) 地域・在宅看護とヘルスケアシステム 3) 地域・在宅看護の対象者 2. 地域・在宅看護の理念	授業内容に該当するテキストを熟読し授業に臨むこと	講義	筆記 100 点
2	地域・在宅看護に関する法と制度と施策	1. 医療保険、介護保険制度と施策 2. 訪問看護に関する法と制度 3. 権利保障に関する法と施策 4. 各保健・障害者等に関する法と施策	医療保険、介護保険について	講義	
3	地域包括ケアシステム	1. 地域包括ケアシステムの必要性 2. 地域包括ケアシステムの構成と機能 3. 地域包括支援センターの目的と設置	地域包括ケアシステムの構成	講義	
4	地域・在宅看護に関する法と制度と施策	1. 地域包括ケアシステムにおける多様な場 1) 病院、診療所、居宅、通所サービス、地域包括支援センター、介護施設、老人保健施設など 2. 療養の場の移行に伴う連携 1) 継続看護、退院調整	授業内容に該当するテキストを熟読し授業に臨むこと	講義	
5	地域・在宅看護に関する法と制度と施策	1. 訪問看護ステーション 1) 訪問看護ステーションの開設基準、従事者、対象者、内容 2) 事例を通して訪問看護サービスまでの流れを理解する	訪問看護サービスの利用者と16 特定疾病、厚生労働大臣が定める疾病	講義	
6・7	地域における多様な看護の場 (演習)	1. 地域における多様な場での看護の実際 1) 事例を通して法、制度、施策について調べる	訪問看護、権利保障、保健障害者等に関する制度の	講義 演習	
8	全体のまとめ 単位認定試験 ※授業5/7回以上の出席を必要とする				

授業科目名		地域・在宅看護方法論Ⅰ (予防支援論)	1 単位 1 5 時間 / 7 回	年次・開講 2 年次・ 前期	
担当講師		根本 桂子		実務経験教員対象科目	○
科目目標		地域で生活するあらゆる人とその家族の健康課題を捉え、健康の維持増進・疾病予防をするための支援方法が理解できる			
使用テキスト		医学書院 e 地域・在宅看護論 1 地域・在宅看護の基礎			
回数	単元	授業内容	事前学習	方法	評価
1	健康づくりと疾病予防のシステム	1. 地域における健康づくりと疾病予防の意義 2. 健康支援の方法 - 集団指導と個別指導 3. 行動変容理論、セルフケア理論の活用	授業内容に該当するテキストを熟読して授業に臨むこと	講義	筆記試験 50 点 +プレゼンテーション 50 点
2	健康づくり・疾病予防システムの実際	1. 各発達段階における健康づくり・疾病予防 1) 対象把握とニーズ・健康課題の分析 2) 健康づくり・疾病予防の目的・目標の選定 3) 対象に合わせた健康づくりの計画・方法の選定 4) 計画の実施と評価 5) 情報提供と地域交流、連携	授業内容に該当するテキストを熟読して授業に臨むこと	講義	
3・4	各発達段階における健康づくり・疾病予防の計画	1. 各事例に基づき、対象へ健康づくり・疾病予防を計画する	グループワークに必要な資料を持参する	演習	
5	各発達段階における健康づくり・疾病予防の実施	1. 各事例に基づき、対象へ健康づくり・疾病予防計画を実施する	グループワークに必要な資料を持参する	ロールプレイ	
6	各発達段階における健康づくり・疾病予防の評価	1. 各事例に基づき、対象へ健康づくり・疾病予防計画を評価する	グループワークに必要な資料を持参する	演習	
7	生活を支える地域づくり	1. 地域住民への啓発の技法 1) 健康教室 2) 住民組織・ボランティアとの協働	授業内容に該当するテキストを熟読して授業に臨むこと	講義	
8	全体のまとめ 単位認定試験 ※授業 5/7 回以上の出席を必要とする				

授業科目名		地域・在宅看護方法論Ⅲ	1 単位	年次・開講	
			30 時間 / 15 回	2 年次・ 前期	
担当講師		斎藤 朋恵		実務経験教員対象科目	○
科目目標		健康レベルに応じた在宅における継続看護の必要性を理解し、関連する多職種の役割と社会資源を有効に利用するためのケアマネジメントが理解できる			
使用テキスト		医学書院 e 地域・在宅看護論 2 地域・在宅看護の実践			
回数	単元	授業内容	事前学習	方法	評価
1	地域・在宅看護の個別支援	1. 学習の進め方	家族看護・家族の発達課題 在宅看護過程の特徴 ケアマネジメント	講義 演習	筆記 50 点 演習 50 点
2		2. 事例①「嚥下障害のある高齢療養者」を通して、地域・在宅看護の支援について深める。			
3		・要介護度 サービス・保健医療福祉の連携 ・ケアマネジメント・家族看護 ・在宅における看護過程			
4	療養者・家族を主体とした看護	事例②必要ではないケアを要求される 事例③よかれと思って提案したことが苦情に発展 事例④暮らしの場は、不適切な環境！？ 事例⑤療養者と中心とした環境調整	訪問看護の動画 視聴 家庭訪問の面接技術	演習	
5					
6	地域・在宅で健康障害を持つ療養者の特徴と支援	事例⑥ALS のある療養者	事例についての基礎知識 ワークシートについて自己学習	演習 個人ワーク	
7		事例⑦育児不安のある家族			
8		事例⑧統合失調症のある療養者			
9		事例⑨一人暮らしの認知症のある療養者			
10		担当事例について深める		演習 GW	
11		事例⑥について討議する	事例担当者が GW を深められるように事前準備する	演習 GW 事例担当グループが主になり討議	
12		事例⑦について討議する			
13		事例⑧について討議する			
14		事例⑨について討議する			
15	全体のまとめ 単位認定試験 ※授業 10/14 回以上の出席を必要とする				

授業科目名		地域・在宅看護方法論Ⅳ	1 単位		年次・開講		
			3 0 時間 / 1 5 回		2 年次・ 後期		
担当講師		根本 桂子 溝井 久美			実務経験教員対象科目		○
科目目標		暮らしの場で行われる治療と看護援助のアセスメントや技術が理解できる					
使用テキスト		医学書院 e 地域・在宅看護論 2 地域・在宅看護の実践					
回数		単元	授業内容	事前学習	方法	評価	
1	根本	基本的生 活行 動 と 訪 問 看 護 と の か か わ り	1. 在宅における食事・栄養とアセスメント 2. 摂食・嚥下機能に障害がある方への援助	摂食・嚥下訓練	講義	筆記 40 点	
2			1. 在宅における移乗・移送のアセスメント 2. 移乗・移送の援助と住環境の調整 3. 在宅における服薬のアセスメントと服薬支援	授業内容に該当する テキストを熟読して 授業に臨むこと。	講義		
3			1. 在宅における排泄のアセスメント 2. 尿失禁と看護 3. 排便コントロール (排便含む)	尿失禁・ブリストル 便形状スケール・摘 便技術について	講義		
4			1. 在宅における清潔のアセスメント 2. 清潔援助	入浴・シャワー浴・ 清拭の復習	講義		
5・ 6			1. 在宅で医療処置を行われている方へ創意 工夫し清潔ケアを行う (GW)	各グループの進行度 に合わせて準備	演習	実技 20 点	
7・ 8			1. 在宅で医療処置を行われている方へ創意 工夫し清潔ケアを行う (演習)	計画書を深めること	演習		
9	溝井	在宅での医 療処置とケ ア	1. 在宅で行われている医療機器の種類、医療処置の対象者について 1) 在宅酸素療法 2) 呼吸リハビリテーション 3) 事故防止と緊急体制について	呼吸アセスメントの 復習	講義	筆記 40 点	
10			1. 在宅で行われている医療機器の種類、医療処置の対象者について 1) 在宅人工呼吸療法 2) 排痰ケア	気管カニューレの構造と気管吸引についてまとめる	講義		
11			1. 在宅で行われている医療機器の種類、医療処置の実際 1) 在宅中心静脈栄養法 2) 輸液 3) 経管栄養法	CV ポート手技についてまとめる。輸液、経管栄養法の復習	演習		
12			1. 在宅で行われている医療機器の種類、医療処置の実際 1) ストーマ管理 2) 膀胱留置カテーテル	膀胱留置カテーテル、ストーマトラブルの原因と症状	演習		

13		1. 在宅で行われている医療処置について 1) 褥瘡予防、褥瘡処置 2) 栄養状態改善のケア	褥瘡分類	講義	
14		1. 在宅看護とエンド・オブ・ライフケアの 実際 1) アドバンス・ケア・プランニング 2) 緩和ケア 3) 看取り 4) グリーフケア	エンド・オブ・ライ フケアの復習と死後 の処置についてまと める	演習	
15	全体のまとめ 単位認定試験 ※授業 10/14 回以上の出席を必要とする				

授業科目名		成人看護学概論	1 単位	年次・開講	
			1 5 時間 / 8 回	1 年次・ 後期	
担当講師		円谷かおり		実務経験教員対象科目	○
科目目標		成人の生活と健康課題を学び予防と回復に向けて成人の特性や能力に応じた看護が理解できる			
使用テキスト		医学書院 e 成人看護学 [1] 成人看護学総論			
回数	単元	授業内容	事前学習	方法	評価
1	成人の特徴と生活	1. 成人各期の身体・心理・社会的特徴 2. 成人を取り巻く環境と保健の動向	講義内容について予習をして臨むこと	講義 演習	筆記 100 点
2	健康の保持増進、疾病の予防に向けた看護	1. 健康をおびやかす要因と看護 (職業性疾患、ストレス関連疾患、生活習慣病) 2. ヘルスプロモーションと看護		講義 演習	
3	成人の特性や能力に応じたアプローチ	1. 大人の学習、行動変容を促進するアプローチ 2. 意思決定支援 3. チームアプローチ		講義 演習	
4	急性期にある患者と家族の看護	1. 急性期にある患者の理解 2. 急性期にある対象への看護		講義 演習	
5	慢性疾患がある患者と	1. 慢性病患者の理解 2. 慢性病との共存を支える看護		講義 演習	
6	家族の看護	1. エンパワーメントエデュケーション 2. セルフマネジメントを推進する看護技術		講義 演習	
7	終末期にある患者と家族への看護	1. 人生の最後のときを過ごしている人の理解 2. 人生の最後のときを支える看護		講義 演習	
8	全体のまとめ 試験 (5/7回以上の出席を必要とする)				

授業科目名		成人看護方法論Ⅳ (腎泌尿器 女性生殖器)		1 単位	年次・開講		
				1 5 時間 / 7 回	2 年次・後期		
担当講師		渡邊 瞳 佐久間 歩			実務経験教員対象科目	○	
科目目標		腎泌尿器系・女性生殖器系の機能障害のアセスメントと看護が理解できる					
使用テキスト		医学書院 e 成人看護学 [8] 腎・泌尿器 [9] 女性生殖器					
回数		単元	授業内容	事前学習	方法	評価	
1	佐久間	腎泌尿器系の機能障害を持つ患者の看護	腎不全患者の看護・アセスメント 浮腫 排尿障害 尿失禁 疾患の原因と程度	事例に基づく疾患と看護について 予習して臨む	講義 演習	筆記 60 点	
2			腎不全にて検査を受ける患者の看護 尿検査 膀胱鏡検査 X線検査 腎生検 尿路水力的検査		講義 演習		
3			腎不全にて治療・処置を受ける患者の看護 手術 腎移植		講義 演習		
4			腎不全にて内科的治療を受ける患者の看護 透析治療 シヤントの管理と患者指導 透析維持の生活指導		講義 演習		
5	渡邊	女性生殖器系の機能障害を持つ患者の看護	子宮がん患者の看護・アセスメント（筋腫、附属器も含む） 外性器の視診・触診 性器出血 腹痛 帯下	事例に基づく疾患と看護について 予習して臨む	講義 演習	筆記 40 点	
6			子宮がんの検査・治療・処置を受ける患者の看護 内視鏡検査 手術療法 化学療法 放射線療法		講義 演習		
7			乳がん患者の看護・アセスメント 乳房の視診・触診リンパ節の触診 しこり 乳頭出血 乳房変形		講義 演習		
8			全体のまとめ 試験（5/7回以上の出席を必要とする）				

授業科目名		老年看護概論		1 単位		年次・開講	
				1 5 時間 / 8 回		1 年次・後期	
担当講師		斎藤 朋恵			実務経験教員対象科目		○
科目目標		高齢者の特徴と動向、看護の役割が理解できる					
使用テキスト		医学書院 e 老年看護学					
回数	単元	授業内容		事前学習	方法	評価	
1	老 年 期 の 理 解	1. 高齢者の定義 2. 加齢と老化、生理的老化と病的老化		家族にインタビューし高齢者のイメージをつけ臨む	講義 演習	筆記 90 点 レポート 10 点	
2		1. 老年期の発達課題 2. 加齢に伴う身体的・心理的・社会的側面の変化 1) 恒常性の変化、疾患の特徴 2) 知能の変化 3) 役割と社会活動の変化、就労と収入		加齢に伴う三側面の変化を事前学習し授業前に提出	講義 演習		
3	高 齢 者 の 理 解	1. 高齢者擬似体験		演習後、レポート提出	演習		
4		1. 高齢者の個別性・生活史・多様性 2. 高齢者の生きがい 3. 高齢者の性			講義 演習		
5	超 高 齢 社 会 と 社 会 保 障	1. 人口の高齢化現象と諸問題 1) 高齢化率、平均寿命と健康寿命 2) 高齢者と家族 3) 高齢者の健康状態 2. 高齢社会における保健医療福祉の動向 1) 保健医療福祉制度の変遷 2) 高齢者医療確保法		授業内容に該当するテキストを熟読して授業に臨むこと 授業資料を前提として行うため、事前課題を十分に学習しておくこと	講義 演習		
6	老 年 看 護 の 役 割 と 権 利 擁 護	1. 老年看護の目標・対象 2. 老年看護の特徴（パワーレスネス、ICF モデル、リロケーションダメージ） 3. 老年看護における理論（サクセスフルエイジング、エンパワーメント、ストレングスモデル、ノーマライゼーション等）			講義 演習		
7		3. 高齢者の権利擁護 1) 高齢者差別 2) 高齢者虐待 3) 身体拘束 4) 権利擁護のための制度		1)～4) について事前学習して授業前に提出	講義 演習		
8	まとめ	全体のまとめ 試験 ※授業 5/7 回以上の出席を必要とする					

授業科目名		老年看護方法論Ⅱ		1 単位		年次・開講	
				3 0 時間 / 1 5 回		2 年次・前期	
担当講師		齋藤麻美 芳賀美保 齋藤朋恵			実務経験教員対象科目		○
科目目標		高齢者の生活を整える看護援助が事例に合わせて理解できる					
使用テキスト		医学書院 e 老年看護学、 老年看護 病態・疾患論					
回数		単元	授業内容	事前学習	方法	評価	
1	齋 藤 (麻)	高齢者の栄養	低栄養状態にある患者の事例に基づく看護 高齢者の食生活と栄養・栄養管理・食事の援助	高齢者の特徴 と事例もとづく疾患と看護 について予習 して臨む	講義	筆記 20 点	
2			嚥下・摂食障害にある患者の事例に基づく看護 口腔ケア（口腔清掃）ブラッシング法 義歯の取り扱い		講義 演習		
3			摂食・嚥下訓練				
4	芳賀	高齢者の清潔	高齢者の清潔と衣生活の特徴と援助 高齢者の皮膚の特徴 褥瘡の予防と援助	高齢者の特徴 と事例に基づく疾患と看護に ついて予習して臨む	講義 演習	筆記 30 点	
5							
6		高齢者の活動 ・睡眠	高齢者の活動と睡眠のバランスの特徴と援助 自立の援助とエンパワーメント 不眠・生活リズムを整える援助、休息・睡眠				
7							
8							
9	齋 藤 (朋)	高齢者の排泄	排泄障害がある患者の事例に基づく看護 生活への影響の評価、 便秘・下痢の原因の把握	高齢者の特徴 と事例もとづく疾患と看護 について予習 して臨む	講義 演習	筆記 20 点	
10			排尿障害の原因の把握、排泄の援助と看護				
11		日常生活援助	事例に基づく高齢者の生活を整える援助技術 ・食事の援助技術 ・清潔の援助技術（褥瘡予防） ・排泄の援助技術（おむつ交換・陰部洗浄）	事例に基づく疾患と看護援助について、 事前学習を行い、援助計画書を作成して臨む 学んだことを自己学習ノートに追加する	演習	実技 試験 30 点	
12							
13							
14							
15		事例に基づく技術試験					

授業科目名		老年看護方法論Ⅲ	1 単位	年次・開講		
			1 5 時間 / 8 回	2 年次・前期		
担当講師		二瓶妙子 齋藤朋恵		実務経験教員対象科目	○	
科目目標		1. 多様な生活の場で高齢者の健康を支える看護が理解できる。 2. 高齢者の特有の疾患を理解し、看護過程の展開と看護実践ができる。				
使用テキスト		医学書院 e 老年看護学、 老年看護 病態・疾患論				
回数		単元	授業内容	事前学習	方法	評価
1	二瓶	多様な生活の 場で展開する 高齢者への看護	生活の場を変える高齢者への支援 外来における看護、 高齢者の入院と看護 退院支援・退院調整、退院にかかわる職種 との連携	授業内容の テキストを 確認し、予習 して臨む	講義 演習	筆記 60 点
2						
3			介護保険施設に入所する高齢者の暮らしと看護 介護保険施設等の種類と特徴、 入所者の生活の特徴と看護の役割		講義 演習	
4			地域でサービスを利用しながら暮らす高齢者と 家族の看護 地域密着型サービスの種類と特徴 家族介護状況の把握、介護者の健康と援助 家族生活への影響、 介護力の評価 介護への適応のための援助		講義 演習	
5	齋藤	看護過程	看護過程の展開 脳梗塞の事例に基づく看護展開 看護実践(ロールプレイ)	高齢者の特 徴と事例に 基づく疾患 と看護	演習	演習 40 点
6						
7						
8		まとめ	全体のまとめ 試験 ※授業 5/7 回以上の出席を必要とする			

授業科目名		小児看護学概論		1 単位		年次・開講	
				1 5 時間 / 8 回		1 年次・ 後期	
担当講師		石井 香奈			実務経験教員対象科目		○
科目目標		小児は対象を取り巻く環境の影響をうけて成長・発達することが理解できる 成長・発達を促す関わりの必要性が理解できる					
使用テキスト		医学書院 è 小児看護学[1]小児看護学概論					
回数	単元	授業内容		事前学習	方法	評価	
1	小児看護の 対象	1. 小児看護の対象と目標 2. 小児と家族の諸統計 3. 小児看護に関する法律と施策		授業内容に該当する テキストを熟読 して授業に臨むこ と。	講義 演習	筆記 80点 GW 20点	
2	小児看護に おける倫理	1. 子どもの権利 2. 小児看護において守られるべき権利 3. 医療現場で起こりやすい問題点と看護			講義 演習		
3	子どもの成長・発達	1. 子どもの成長発達の原則 2. 影響する因子 3. 発達評価			講義 演習		
4		1. 成長・発達について GW 発表			講義 演習		
5	子 ど も の 生活	1. 栄養・排泄 2. 睡眠・休息 3. 清潔・衣生活 4. 遊びの発達と援助			講義 演習		
6		1. 子どもの生活について GW 発表			講義 演習		
7		5. 予防接種とワクチンスケジュール			講義 演習		
8	全体のまとめ 試験 ※授業 5/7 回以上の出席を必要とする						

授業科目名		小児看護方法論Ⅱ		1 単位	年次・開講	
				3 0 時間 / 1 5 回	2 年次・ 前期	
担当講師		石井香奈 十文字翠 大谷春奈			実務経験教員対象科目	○
科目目標		1. 健康障害が子どもと家族に与える影響が理解できる。 2. 発達段階に応じた子どもの機能障害のアセスメントと看護が理解できる。				
使用テキスト		医学書院 e 小児看護学[1]小児臨床看護総論 [2]小児臨床看護各論				
回数		単元	授業内容	事前学習	方法	評価
1	石井	病 気 や 入 院 が 子 ど も と 家 族 に 与 え る 影 響	各発達段階にある子どもの病気の理解 入院による環境の変化と子どもの反応 病気や入院が家族に与える影響	授 業 内 容 に 該 当 す る テ キ ス ト を 確 認 し て 臨 む こ と	講義 演習	筆記 20 点
2		発 達 段 階 に 応 じ た 看 護	発達段階別看護 新生児・乳児・幼児・学童期・思春期の看護		講義 演習	
3						
4	十文字	子 ども に み ら れ る 機 能 障 害 と そ の 看 護	循環器疾患の患者の看護 川崎病の事例に基づくアセスメントと看護 (幼児期)	事 例 に 基 づ く 疾 患 と 看 護 に つ い て 予 習 し て 臨 む	講義 演習	筆記 40 点
5			呼吸疾患の患者の看護 気管支喘息の事例に基づくアセスメントと 看護 (学童期)		講義 演習	
6						
7						
8						
9			消化器疾患の患者の看護 胃腸炎・脱水の事例に基づくアセスメントと看 護 (乳児期)		講義 演習	
10	大谷		腎疾患の患者の看護 ネフローゼ症候群の事例に基づくアセスメン トと看護 (幼児期)	事 例 に 基 づ く 疾 患 と 看 護 に つ い て 予 習 し て 臨 む	講義 演習	筆記 40 点
11			血液・造血器疾患患者の看護 紫斑病の事例に基づくアセスメントと看護(学 童期)		講義 演習	
12						
13						
14						
15	石井	まとめ	全体のまとめ 試験 ※授業 10/14 回以上の出席を必要とする			

授業科目名		小児看護方法論Ⅲ		1 単位	年次・開講		
				3 0 時間 / 1 5 回	2 年次・ 前期		
担当講師		渡辺明子 石井香奈			実務経験教員対象科目	○	
科目目標		1. さまざまな状況にある子どもとその家族の看護が理解できる 2. 各期の発達段階に応じた看護援助を安全に実施する必要性が理解できる。 3. 子どもの特有の疾患を理解し、看護過程の展開と看護実践ができる。					
使用テキスト		医学書院 e 小児看護学[1]小児臨床看護総論 [2]小児臨床看護各論					
回数	講師	単元	授業内容	事前学習	方法	評価	
1	渡邊	特別な状況にある患者の看護	医療的ケアを必要とする子どもと家族の看護	事例に基づく疾患と看護について予習して臨む	講義 演習	筆記 20 点	
2							
3	石井	発達段階に応じた看護	虐待が疑われる子どもと家族の看護	事例に基づく疾患と看護について予習して臨む	講義 演習	レポート 10 点	
4							
5		日常生活援助と検査時の看護技術	事例に基づく子どもの日常生活援助技術 事例に基づく検査時の看護技術	事例に基づく疾患と看護援助について、事前学習を行い、援助計画書を作成して臨む 学んだことを自己学習ノートに追加する	演習	演習 30 点 実技試験 20 点	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							看護過程
13							
14							
15	石井	全体のまとめ 試験 ※授業 10/14 回以上の出席を必要とする					

授業科目名		母性看護学概論	1 単位	年次・開講		
			15 時間 / 8 回	1 年次・ 後期		
担当講師		渡邊 朋世		実務経験教員対象科目		○
科目目標		人間の性と生殖の意義および母性各期の特徴を学び、看護の役割が理解できる				
使用テキスト		医学書院 e 母性看護学[1]母性看護学概論 医学書院 e 母性看護学[2]母性看護学各論				
回数	単元	授業内容	事前学習	方法	評価	
1	母性看護の 基盤となる 概念	1. 人間の性 セクシャリティ、ジェンダー 2. リプロダクティブヘルス/ライツ	提示された事前課 題に取り組んだう えで臨むこと	講義 演習	筆記・ 80 点 レポート 20 点	
2		1. 母性・父性・母性看護の概念 2. 母性看護に関する理論 3. 家族機能		講義 演習		
3	母性看護に 関わる倫理	1. リプロダクティブヘルスケアに関する倫理 生殖補助医療・出生前診断・人工妊娠中絶 課題：レポート	生命倫理について テキストを熟読し てから臨むこと	講義 演習		
4	母性看護の 取り巻く環 境	1. 母性を取り巻く環境と動向 2. 母性の対象に関わる法律 事例に基づき、適応する法律について学ぶ 3. 母性看護に関する施策 4. 母性看護の提供システム 5. 母性看護活動	提示された事前課 題に取り組んだう えで臨むこと	講義 演習		
5	母性看護の 対象理解と 看護	1. 女性ライフサイクルにおける健康と看護 思春期・性成熟期・更年期・老年期	解剖生理学(女性生 殖器の構造と機能、 性周期)、病理学(女 性生殖器疾患)を復 習して臨むこと	講義 演習		
6	母性看護の 対象への看 護	1. リプロダクティブヘルスケアに関する看護 不妊・性感染症と予防・人工妊娠中絶と看護・ 性暴力を受けた女性への看護	提示された事前課 題に取り組んだう えで臨むこと	講義 演習		
7		2. リプロダクティブヘルスケア GW: 事例の女性に適した避妊法について考える	提示された事前課 題に取り組んだう えで臨むこと	講義 演習		
8	全体のまとめ 単位認定試験 *授業 5/7 回以上の出席を必要とする					

授業科目名		母性看護方法論Ⅰ		1 単位		年次・開講	
				3 0 時間 / 1 5 回		2 年次・ 前期	
担当講師		渡邊 朋世			実務経験教員対象科目		○
科目目標		妊婦のアセスメントと看護が理解できる。					
使用テキスト		医学書院 e 母性看護学[2]母性看護学各論					
回数		単元	授業内容	事前学習	方法	評価	
1	渡邊	妊婦の経過	妊娠の成立 (妊娠の定義、受精と着床、妊娠の診断)	解剖生理学(女性生殖器)と妊娠の成立を復習して臨むこと	講義 演習	筆記 65 点 GW15 点 看護 過程 20 点	
2			胎児の成長・発達 (胎児発育、胎児付属物の特徴)		講義 演習		
3			妊婦の身体的特徴	テキストを熟読して臨むこと	講義 演習		
4			妊婦の心理的特徴		講義 演習		
5		妊婦のアセスメント	妊婦健康診査について① (情報収集の目的、検査内容 など)	提示された事前学習に取り組んだうえで臨むこと	講義 演習		
6			妊婦健康診査について② (実施方法、結果の判定方法 など)		講義 演習		
7		妊婦の看護	健康相談・健康教育とは 妊娠各期の健康教育 GW (妊娠初期・中期・後期・10 か月)	テキストなどを熟読して臨むこと	講義 演習		
8			妊婦の健康教育 GW		演習		
9			GW 発表		演習		
10		ハイリスク妊婦の看護	ハイリスク妊娠の看護 (妊娠悪阻、切迫流早産、多胎妊娠、妊娠高血圧症候群、妊娠糖尿病、妊娠性貧血)	それぞれの特徴について事前学習して臨むこと	講義 演習		
11					講義 演習		
12		看護過程	妊婦の看護過程の展開 アセスメント	テキストを熟読して臨むこと 指示された課題を期日に提出すること	講義 演習		
13			アセスメントの共有 看護診断 看護計画の立案		講義 演習		
14			看護診断、看護計画の共有 看護計画の実施		講義 演習		
15	全体のまとめ 単位認定試験 *授業 10/14 回以上の出席を必要とする						

授業科目名		精神看護概論	1 単位	年次・開講	
			3 0 時間 / 1 5 回	1 年次・ 前期	
担当講師		佐藤 成美		実務経験教員対象科目	○
科目目標		心の健康とは何か、また、阻害する要因とは何かを知ることにより、精神保健の重要性とその看護の必要性を理解できる。			
使用テキスト		医学書院 e 系統看護学講座 精神看護の基礎			
回数	単元	授業内容	事前学習	方法	評価
1	精神保健について	こころの健康について考える 精神的健康、精神保健	授業内容に該当するテキストを熟読して授業に臨むこと。	講義 演習	筆記 1 0 0 点
2	精神の健康について	心と体の関係を考える		講義 演習	
3	精 神 の 構 造・心の働き・精神分析理論	知覚、思考、学習、意志・意欲、感情 精神の構造 精神力動理論 局所論 構造論 防衛機制		講義 演習	
4	精神の発達理論	心理学的発達理論 ピアジェ認知発達理論		講義 演習	
5	危機について	危機の種類 フィンクの危機理論 レジリエンス 災害時の心理的危機 ストレス		講義 演習	
6	各発達段階の特徴と危機	エリクソン「漸成的発達理論」について		講義 演習	
7				講義 演習	
8				講義 演習	
9	環境と心	家族・学校・職場・地域について		講義 演習	
1 0				講義 演習	
1 1				講義 演習	
1 2	リエゾン・災害精神看護	リエゾン精神看護とは 災害時の精神看護		講義 演習	
1 3	看護師のストレスマネジメント	医療現場としてのストレス ストレスマネジメント		講義 演習	
1 4	精神の歴史と法律	精神保健福祉法 障害者総合支援法		講義 演習	
1 5	現代の精神保健・医療	精神保健福祉施策 入院形態（任意入院、医療保護入院、措置入院、緊急措置入院、応急入院）		講義 演習	

授業科目名		精神看護方法論Ⅱ		1 単位	年次・開講	
				3 0 時間 / 1 5 回	2 年次・ 後期	
担当講師		鈴木 圭子 佐藤 成美			実務経験教員対象科目	○
科目目標		精神障害を持つ人の看護が理解できる				
使用テキスト		医学書院 e 系統看護学講座 精神看護の展開				
回数		単元	授業内容	事前学習	方法	評価
1	鈴木	精神科看護の特徴とアセスメント	1. 看護の役割	精神看護概論・精神看護方法論Ⅰの講義を振り返り臨むこと 授業内容に該当するテキストを熟読して授業に臨むこと 前回の講義を復習し、授業内容を予習して授業に臨むこと	講義 演習	筆記 8 0 点
2			2. 観察と記録 3. 病棟環境の調整と援助 4. リスクマネジメント（自殺、自殺企図、自傷行為、暴力、暴力予防プログラム CVPPP、他） 5. 生きる力と強さに着目した援助（レジリエンス、リカバリー、ストレングス、エンパワメント）			
3		精神障害を持つ人と家族への看護	1. 統合失調症をもつ人の看護（急性期・回復期・慢性期）		講義 演習	
4			2. 気分（感情）障害をもつ人の看護			
5			3. 依存症をもつ人の看護			
6			4. 障害をもつ子供への看護（自閉症スペクトラム障害、注意欠陥多動性障害、強迫性障害、神経性やせ症摂食制限型）			
7			5. 精神の障害を持つ人の家族への影響と支援			
8						
9		検査および治療に伴う看護	1. 心理・社会的療法 認知行動療法、生活技能訓練（SST）		講義 演習	
10			2. 電気けいれん療法			
11		精神科リハビリテーションと精神保健医療に関する社会資源	1. 精神科リハビリテーションのあり方 精神科デイケア、精神科ナイトケア		講義 演習	
12			2. 精神科訪問看護 3. ACT 4. 自立支援医療			
13	佐藤	患者と看護師関係の理解	治療的コミュニケーション		講義 演習	筆記 2 0 点
14					講義 演習	

15			事例に基づくプロセスレコードの活用		講義 演習	
----	--	--	-------------------	--	----------	--

授業科目名		精神看護方法論Ⅲ	1 単位	年次・開講		
			1 5 時間 / 7 回	2 年次・ 後期		
担当講師		佐藤 成美		実務経験教員対象科目		○
科目目標		精神疾患をもつ人とその家族への看護過程の展開ができる				
使用テキスト		医学書院 e 系統看護学講座 精神看護の展開				
回数	単元	授業内容		事前学習	方法	評価
1	精神障害をもつ人と家族への看護過程	<事例に基づき、精神疾患をもつ人とその家族のアセスメントと看護過程>		事例の疾患について学習してくること。	講義 演習	演習・ 成果物 5 0 点 筆記 5 0 点
2					講義 演習	
3					講義 演習	
4		1. 急性期における統合失調症・気分障害をもつ人の看護展開 2. 慢性期における統合失調症・気分障害をもつ人の看護展開 3. 上記の事例を基に、退院後の地域での生活考える		各領域の発達段階を復習してくること。	講義 演習	
5		精神障害をもつ人と家族の地域での生活支援について学び、精神疾患・障害者ケアマネジメントの理解を深める		地域精神保健福祉について予習しておくこと	講義 演習	
6				講義 演習		
7				講義 演習		
8	全体のまとめ 単位認定試験 ※授業 5/7 回の出席を必要とする					

授業科目名	健康支援看護方法論Ⅰ	1 単位	年次・開講		
		30 時間 / 15 回	2 年次・前期		
担当講師	高林 圭子	実務経験教員対象科目		○	
科目目標	あらゆる対象の健康障害の症状や治療を踏まえた経過や場面から、臨床判断に必要な臨床推論をする				
使用テキスト	医学書院 e 解剖生理学 イラストで学ぶ解剖学・生理学（医学書院） <u>医学書院 e 病理学</u> 医学書院 e 基礎看護学 [4] 臨床看護総論				
回数	単元	授業内容	事前学習	方法	評価
1	臨床判断	臨床判断の意義とプロセス 学習の進め方		講義 演習	筆記 50 点 演習 50 点
2	健康障害の経過と治療にともなう看護の特徴	1.急性期、回復期、慢性期、終末期、リハビリテーション期にある対象への看護を考える	授業内容について自己学習して望む	演習	
3		2.安静療法、薬物療法、食事療法、集中治療が必要な対象者への看護を考える		発表	
4	臨床判断に必要な臨床推論 (気づき・緊急度の判断・データ収集・推論仮説検証・問題判断・ケアの選択と留意点)	1. 問題発見・解決のための論理的思考に取り組む 事例①慢性心不全の患者 事例②糖尿病の患者	既習の学びを活かし事例のワークシートについて自己学習	ワークシートについて個人の学びを深める	
5		事例③胆石性胆嚢炎の患者 事例④肺炎の患者			
6		事例⑤心臓外科手術後の患者 事例⑥大腸がん術後2日目の患者			
7		事例⑦訪問すると、患者が倒れていた！場面 事例⑧骨折患者の退院支援と多職種連携の場面			
8		事例⑨医療チームとのかかわり（NST、RST）の場面			
9		担当事例について深め、事前学習項目を提示する	担当事例のワークシート内容		
10		2. 問題発見・解決のための論理的思考を深める 事例①について検討する 事例②について検討する	事例ごとに提示された事前学習とワークシート	GW 事例担当グループが主になり全体で討議	
11		事例③について検討する 事例④について検討する			
12		事例⑤について検討する 事例⑥について検討する			
13		事例⑦について検討する 事例⑧について検討する			
14		事例⑨について検討する			
15	全体のまとめ 試験 ※授業 10／14 回以上の出席を必要とする				

授業科目名		健康支援看護方法論Ⅱ		1 単位		年次・開講		
				3 0 時 間 / 1 5 回		2 年 次 ・ 前 期		
担当講師		佐藤みどり 森田真由美 伊藤祐子			実務経験教員対象科目		○	
科目目標		がん治療に関連した放射線・化学療法を受ける対象のアセスメントと看護が理解できる。 手術療法を受ける対象の看護やセルフケア獲得に向けた看護が理解できる。						
使用テキスト		医学書院 e 【別巻】がん看護 医学書院 e 別巻 臨床外科看護総論 臨床外科看護各論 医学書院 e 基礎看護学 [4] 臨床看護総論						
回数		単元	授業内容		事前学習	方法	評価	
1	佐藤	放射線療法に伴う看護	放射線治療を受ける子宮頸がん患者の看護		病理学Ⅳ放射線治療での学びを復習して臨む 事例に基づく疾患と看護について予習して臨む	講義 演習	筆記 30 点	
2			放射線療法の治療経過に沿ったアセスメントと援助					
3		化学療法に伴う看護	化学療法を受ける乳がん患者の看護					
4			化学療法に伴う症状のアセスメントと援助					
5	森田	手術療法に伴う看護	事例により周手術期にある患者についてグループ討議をする 1. 膵臓で手術を受ける成人の看護 2. 大腿骨頸部骨折で手術を受ける老年の看護 3. 虫垂炎で手術を受ける小児の看護 ・術前の看護 ・術中の看護		事例に基づく疾患と看護について予習して臨む	講義 演習	筆記 30 点	
6								
7								
8								
9								
10	伊藤	手術療法に伴う看護	事例により周手術期にある患者についてグループで事例検討		各担当の事例に基づく疾患と看護について予習して臨む 分からないことはその都度自己学習を行う GW 前には自己の考えをまとめておく。 試験後自己学習提出（評価対象）	演習 GW	筆記 演習 40 点	
11			1. 膵臓がんの手術を受ける高齢者の看護 2. クモ膜下出血の成人の看護 3. 大動脈解離の成人の看護 ・術後の看護	各担当事例の内容検討				
12				各担当事例に合わせた看護発表と事例検討				
13				各担当事例に合わせた看護の検討				
14				検討した看護を発表と事例検討				
15		全体のまとめ 試験 ※授業 10／14 回以上の出席を必要とする						

授業科目名		健康支援看護方法論Ⅳ		1 単位		年次・開講		
				1 5 時間 / 8 回		2 年次・ 後期		
担当講師		伊藤祐子			実務経験教員対象科目		○	
科目目標		あらゆる対象の急性期、慢性・回復期の経過に応じた看護過程の展開から、個性ある継続看護を学ぶ						
使用テキスト		テキスト全般						
回数	単元	授業内容			事前学習	方法	評価	
1		急性期にある看護過程 事例より急性期・急性期・慢性期にある患者の看護についてグループ討議をする 1. 成人期における胃がん患者の看護 2. 老年期における大腿骨頸部骨折の認知症患者の看護 3. 小児におけるネフローゼ症候群の患児の看護			事例に基づく疾患と看護について予習して臨む	演習	筆記 GW レポート 100 点	
2								
3								
4								
5						演習		
6								
7	発表とまとめ					講義 演習		
8	試験 ※5／7 回以上の出席を必要とする							

看護の統合と実践（4単位：120時間）

<目 的>

質の高い看護を提供するために既習の知識・技術を統合し、安全に基づいた看護実践能力を培う。

<目 標>

1. 看護職の役割を認識し、看護をマネジメントする基礎的能力が習得できる。
2. 看護の動向、看護に関連する諸制度を学び専門職としての社会的役割が理解できる。
3. 世界の健康問題の現状と看護の国際協力について理解できる。
4. 災害時における看護の役割が理解できる。
5. 既習の知識・技術を統合し、対象の状態に応じた看護が科学的根拠に基づいて安全に実践できる。
6. 卒後の看護ケアと業務遂行のイメージができる。

<構 成>

科目	単位	時間	履修時期
看護の統合と実践 I	1	30	2年
看護の統合と実践 II	1	30	3年
看護の統合と実践 III	1	30	3年
看護の統合と実践 IV	1	30	3年

授業科目名		看護の統合と実践 I		1 単位		年次・開講	
				3 0 時間 / 1 5 回		2 年次・ 前期	
担当講師		高林圭子 小林順一 佐藤成美			実務経験教員対象科目		○
科目目標		1. 看護実践における安全の意義が理解できる 2. 安全文化とリスクマネジメントについて理解し、事故を予防するための論理的思考とコミュニケーション能力が習得できる 3. 事例をアセスメントし、安全安楽の視点で看護技術が実践できる					
使用テキスト		医学書院 e 医療安全 看護の統合と実践②					
回数	担当	単元	授業内容	事前学習	方法	評価	
1	高林	医療安全 とリスク マネジメ ント	国・組織としての医療安全対策の理解 1. ヒューマンエラーとメタ認知機能 2. 安全文化 3. 医療事故と看護業務	講義内容 を予習し て授業に 臨む	講義	筆記 50 点	
2	小林		1. リスクマネジメントの実際 公立岩瀬病院での医療安全対策		講義		
3			1. 事故の連鎖と背後要因 (フィッシュボーン・ブレンストミングの原則と実施)		講義 演習		
4	高林	倫理的判 断と行動	看護師が関連した医療事故やヒヤリハットと対策の実際 1. 医療事故事例の検索 2. 事故後の対応	前回の復 習と講義 内容を予 習して授 業に臨む	講義 演習		
5			1. 看護者の倫理綱領と援助の関連 2. 医療者間・対象者とのコミュニケーションエラー				
6		看護・医療 事故の分 析方法	看護・医療事故の分析方法を理解し事故防止対策を考える 1. 事故分析(SHEL 分析) 2. インシデント事例から分析の実際				
7			1. 医療事故の分析の実際 2. 事例から個人情報保護を考える				
8		リスクセ ンストレ ーニング	危険を予測する論理的思考を高める 1. 危険予知トレーニング (KYT) KYT とは、KYT の進め方	課題事例 について 自己学習 して演習 に臨む	講義 演習		
9			1. 危険予知トレーニング (KYT) チームで取り組む援助中の KYT				
10		トラブル 対応	トラブル時の対応について理解できる 1. 事故発生時の対応				
11			1. 急変時の対応〈SBAR 報告〉				
12	佐藤	複合的な 状況にあ る対象の 危険の回 避	1. 治療・処置が必要な（チューブの挿入など）患者にかかわるプランを考え、「活動・休息援助」、「清潔・衣生活援助」などの援助計画の立案と実践 2. 状態の変化や状況（危険因子(割り込み)・タイムプレッシャー）への対応	2 事例の 援助計画 を立案し て演習に 臨む	演習	実技 50 点	
13							

14・15	技術実技評価	*2 事例のプラン表と援助計画を含む自己学習ノートを提出
-------	--------	------------------------------

授業科目名		看護の統合と実践Ⅱ		1 単位	年次・開講	
				3 0 時間 / 1 5 回	3 年次・ 前期	
担当講師		松田智恵子 伊藤恵美 有賀直明			実務経験教員対象科目	○
科目目標		1. 看護管理の実際を理解し、看護マネジメントの基礎的能力が習得できる 2. チーム医療及び他職種と協働する中で、看護師としてのメンバーシップおよびリーダーシップが理解できる 3. 看護の動向、看護に関連する諸制度を学び専門職としての社会的役割が理解できる				
使用テキスト		医学書院 看護管理 看護の統合と実践①				
回数	担当	単元	授業内容	事前学習	方法	評価
1	松田	看護におけるマネジメント	1. 看護マネジメントとは何か 2. 組織の仕組みと機能 3. 管理論・目標管理方式 4. ナイチンゲールの看護管理	教科書、講義資料を読み講義内容を予習して授業に臨む	講義	筆記 70 点
2			1. 看護ケアのマネジメント 安全管理、感染対策、災害対策 2. チーム医療 3. 事例から学ぶ看護マネジメント			
3			看護倫理と看護サービス管理			
4	伊藤	組織のマネジメント	1. 看護の組織化 病院組織での看護部の位置づけ・看護部組織の職位と役割、理念	教科書、講義資料を読み講義内容を予習して授業に臨む		
5			2. 看護サービス提供のしくみ 看護単位の機能と特徴 看護提供方式等			
6		人材のマネジメント	1. キャリア開発のロップメント キャリアラダー、ジェネラリストとスペシャリスト 2. 人材フローのマネジメント 3. 労働環境 労働時間、勤務体制、雇用形態等			
7		看護サービスの質保証	1. サービスの対象者からの評価 2. 自己評価 3. 第三者評価 4. 保険支払組織からの評価			
8	有賀	看護サービスと経済の仕組み	1. 経済の仕組み 診療報酬制度の仕組み、診療報酬制度と病院の収益、入院基本料、医療保険制度・介護保険制度等	講義内容を予習して授業に臨む		

9	松田	看護と情報・施設・物品マネジメント	1. 看護サービスの提供と情報管理 2. 看護を支援する情報システムの実践 3. 電子カルテと看護 4. 施設・設備環境のマネジメント 5. 物品のマネジメント	教科書、講義資料を読み講義内容を予習して授業に臨む		
10		看護者に求められるマネジメント能力	1. 看護実践に必要なマネジメント能力 2. 日常業務のマネジメント			
11			3. セルフマネジメント能力 4. リーダーシップ能力			
12			5. コーチング 6. アサーション能力			
13			7. ストレスマネジメント能力 8. 企画書作成 「自分が伸ばしたいマネジメント能力」			
14			1. グループワーク 1) 「〇〇病院看護部の目指す看護師像」 2) 「〇〇病院の看護師に求められる能力」	GW, 発表準備	演習	演習 30点
15	松田 伊藤		2. 1の発表会			

授業科目名		看護の統合と実践Ⅲ		1 単位		年次・開講	
				3 0 時間 / 1 5 回		3 年次・ 前期	
担当講師		石井香奈 JICA 國井たまき			実務経験教員対象科目		○
科目目標		1. 世界の健康問題の現状と看護の国際協力について理解できる 2. 災害時における看護の役割が理解できる					
使用テキスト		医学書院 災害看護・国際看護 看護の統合と実践③					
回数		単元	授業内容	事前学習	方法	評価	
1	石井	国際協力の概要	国際協力、世界の健康問題の現状を理解する 1. 国際協力、国際看護とは 2. 世界の健康問題の現状 3. 世界の人口の推移と各国の現状	講義内容について予習してくる。 指示される課題に取り組む。	講義	レポート 10 点	
2			4. 死因や健康問題 5. 異文化看護				
3			6. 世界の保健福祉の実情についてレポートにまとめる				
4	JICA	国際看護の活動の実際	国際協力活動の実際から国際看護を学ぶ 1. 国際協力とは 2. 国際協力機構（JICA）について 3. 国際協力における看護活動	参加要項を確認	講義 演習	レポート 20 点	
5							
6	國井	災害の概要	災害の定義、種類と災害医療の特徴を理解する 1. 災害看護とは 2. 災害の種類と健康障害 3. 災害医療の特徴	教科書、配布資料を読んで講義内容を学習して授業に臨む	講義	筆記 30 点	
7			災害発生時の対応を理解する 1. 災害と関連法規 1) 国・都道府県の対応など 2. 災害派遣医療チーム役割と活動 3. 災害拠点病院の役割 4. 災害支援ナースの心得と実際				
8							
9		災害看護の活動の実際	災害各期に応じた看護活動を理解する 1. 災害サイクル 2. 災害時の医療看護と要援護者への援助 3. 被災者のストレスと心のケア 4. 災害発生時の対応		講義	筆記 40 点	
10							
11							
12							
13							
14	救護活動の実際を理解する 1. 災害時の対応と応急処置 1) がれきの下の医療 2) 傷病者の搬送	教科書、技術参考書で予習して演習に臨む	演習				

15			2. トリアージ			
----	--	--	----------	--	--	--

授業科目名		看護の統合と実践Ⅳ	1 単位	年次・開講	
			3 0 時間 / 1 5 回	3 年次・ 後期	
担当講師		円谷かおり		実務経験教員対象科目	○
科目目標		1. 既習の知識・技術を統合し、対象の状態に応じた看護が科学的根拠に基づいて安全に実践できる。 2. 卒後の看護ケアと業務遂行のイメージができる。			
使用テキスト		医学書院 医療安全 看護の統合と実践②			
回数	単元	授業内容	事前学習	方法	評価
1	看護実践のために必要なマネジメント	1. 事例による健康状態の経過と状況に応じた看護を考える 1) 複数患者を受け持つ看護の優先順位	提示されている課題について学習し、授業開始前に提出 授業内容を予習して臨む	講義 演習	筆記 50 点
2		2) 多重課題への対応			
3		3) 夜間時の看護、チーム内での連携			
4		4) 急変時の対応（SBAR を用いて）			
5	看護実践のために必要な看護の対応	1. 4 人の事例患者をアセスメントし、多重課題が生じた際の看護援助を実践する	1～4 の授業内容を踏まえ、4 事例のアセスメントと統合Ⅰの復習をして授業に臨む	演習	
6		1) 認知症、脳梗塞既往のある脱水患者 2) 開腹手術後の患者 3) DM コントロール、自己管理目的で入院中の患者 4) 誤嚥性肺炎で入院中の患者 ・患者の状態・状況変化時の援助 ・看護援助中の割り込み時の安全を踏まえた対応 ・多重課題発生時のチーム連携 ・患者に行われている治療・処置を踏まえた複数患者への対応 など			
7					
8					
9					
10					
11		1. 複数患者事例をアセスメントして、援助技術を安全に実施できる 1) 多重課題・割り込みの状況下において 安全に配慮した優先順位を考えた看護	事例に合わせた援助計画書を作成し演習に臨む	演習	
12					
13					
14・15	技術実技評価				実技 50 点